

第17回 高松高専皆楽祭



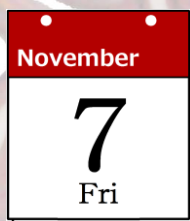
11月7日からの三日間、高松高専の一年間で最も大きな学生行事ともいえる、皆楽祭が開催されました。

今年の皆楽祭のテーマは「奏」（かなで）。学生はもちろんのこと、一般のお客さんや先生方、運営スタッフなど、参加したすべての人々

がその楽しみや興奮を共感できる皆楽祭でありたいという願いを込めてつけられたテーマです。

紙面では伝えきれないほどの興奮と驚き、そして感動の連続だったあの三日間を、豊富な写真で振り返りましょう！

11月7日、模擬店や展示の準備が整った頃から、だんだんと皆楽祭の雰囲気が高まってきます。皆楽祭の幕が開けるのは夕方からの前夜祭。今年も熱いライブで前夜祭の幕が切って落とされました。



続いて、毎年恒例の女装企画「ミス!!高専」。豪華賞品を賭けて、どの参加者もメイクに気合いが入っています。



この後、Wind Mill ライブ、先生クイズ、ダンスモドレー、最後に 88temples ライブと進行していきました。

仮装行列が行われました。



▲迫力のダンスメドレー



▲練り歩きながら道行く人へビラを配ります



▲WindMill ライブ



▲スルーされる悲しみにも負けません！！

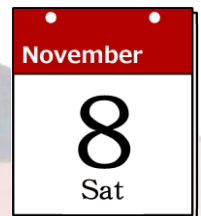
実は、今年の先生クイズは拡大版の60分構成。見所はなんといっても、今年退職される鎌田先生の最後の出演でした！



▲先生方の珍解答が会場を沸かせます
(写真はピカチュウを書くクイズの解答)

準備と前夜祭がこの日のすべてだと錯覚してしまいがちですが、彼らの活躍を忘れてはいけません。学校内で準備が進められている間、商店街ではこの皆楽祭を一般の人にも知ってもらおうべく、

二日目、いよいよ一般のお客さんも入り、模擬店の営業も開始。校内には模擬店が出す料理のおいしそうなおいが漂います。あいにく、この日の天気は雨。運動場で運営する企画にとっては致命傷だったはずです…。



▲ 雨で運動場のコンディションは最悪…



▲ 第二体育館でのサイエンスフェスタ

この日は皆楽祭を語る上では外すことのできない本夜祭があります。その出だしを飾ったのがBMX。派手なパフォーマンスの迫力は去年の皆楽祭でも実証済み。体育館中がエキサイティングな雰囲気になります。



▲洗練されたパフォーマンスに釘付け

スピード感あふれる余韻を残しつつ、軽音部部长所属の女性ボーカルグループ I-ro のライブに移ります。会場はさらにヒートアップ。

ライブが終わると、会場の照明が落とされ、雰囲気が一転します。皆楽祭の三日間中、最も注目を集める企画、スポーツマンNo.1決定戦が始まります。皆楽祭本部役員の総力を結集したと言っても過言ではないこの企画、会場の盛り上がりはピークに達しました。



▲ 照明やスクリーンも手を抜きません。



▲一回戦はアームレスリング。

その後、5CS 高橋ライブ、ラブラブアタック、そして皆楽祭伝統の高専花火と続き、豪華景品続出のビンゴで本夜祭は幕を下ろしました。



▲ガーン。世の中そう上手くはいきません。



▲これを見ずには皆楽祭は終われない！



▲ 今年のビンゴの一等は大画面テレビでした！

そして最後の3日目。結局この日も雨さえ降らなかったものの、今ひとつの天気。

最終日独特の、少し寂しい雰囲気の中、企画が進行していきます。



▲新企画「ぎりぎりマスター」



▲模擬店は最後の売り出しにかかります。



▲体育館ではライブも行われています。



▲ストリートダンスは人だかりができるほどの迫力でした。

チャリティーコンサートが終わり、すべての企画が終了。皆楽祭は静かに幕を下ろし、片付けが始まります。また来年！！

